

1. TP-L LabVIEW ドライバと設定方法

ドライバ名：熱画像センサ対応ドライババージョン

対応機種： TP-L02**EN , TP-H02**AN

ファイル：熱画像センサ対応ドライバ`flファイル容量：3 Mbyte)

ダウンロード先：

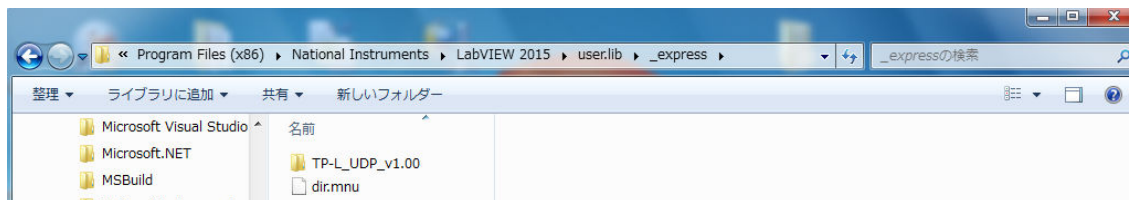
https://www.chino.co.jp/support/download/soft/soft_LabVIEW.html

https://www.yamagata-chino.co.jp/support/soft/soft_LabVIEW.html

設定方法

上記より、ファイルをダウンロードいただきまして LabVIEW のインストール先の以下のフォルダ例を参考に解凍の上、コピーしてください。

(解凍したファイル群を _express フォルダの配下にコピーしてください。)



LabVIEW がサポートする Windows OS バージョンについては↓をご確認願います。

<http://digital.ni.com/public.nsf/allkb/42C1FC7BE04899DA862570910024E0FE>

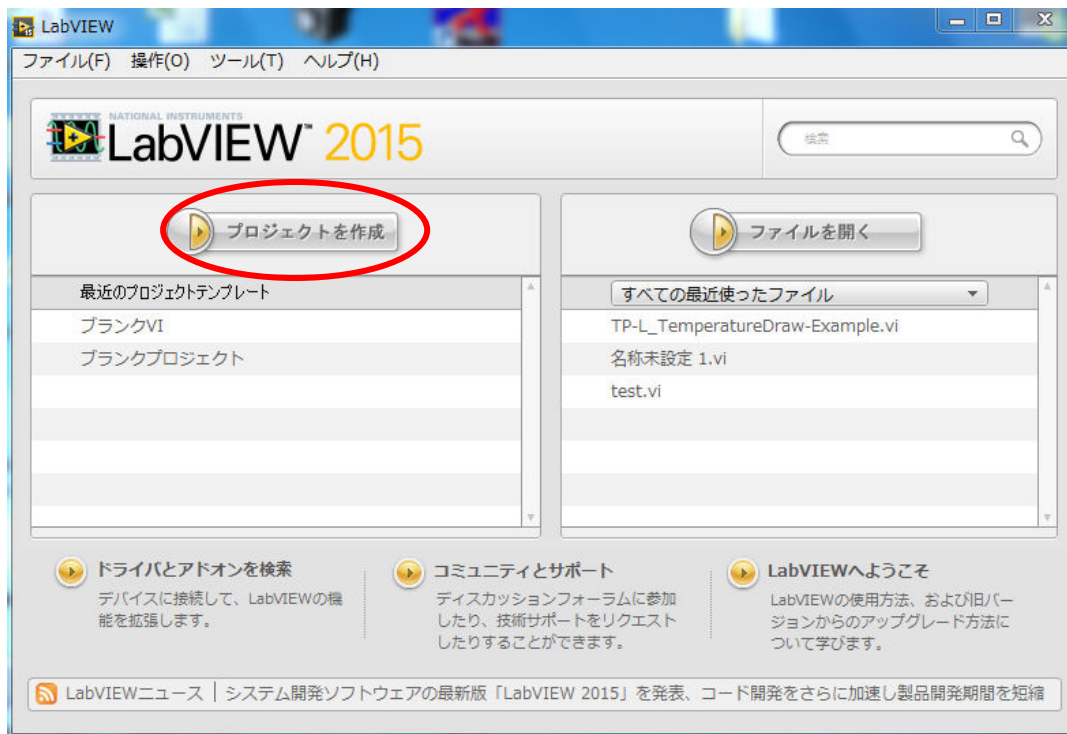
Windows7 LabVIEW2009SP1～

Windows8 LabVIEW2012SP1～

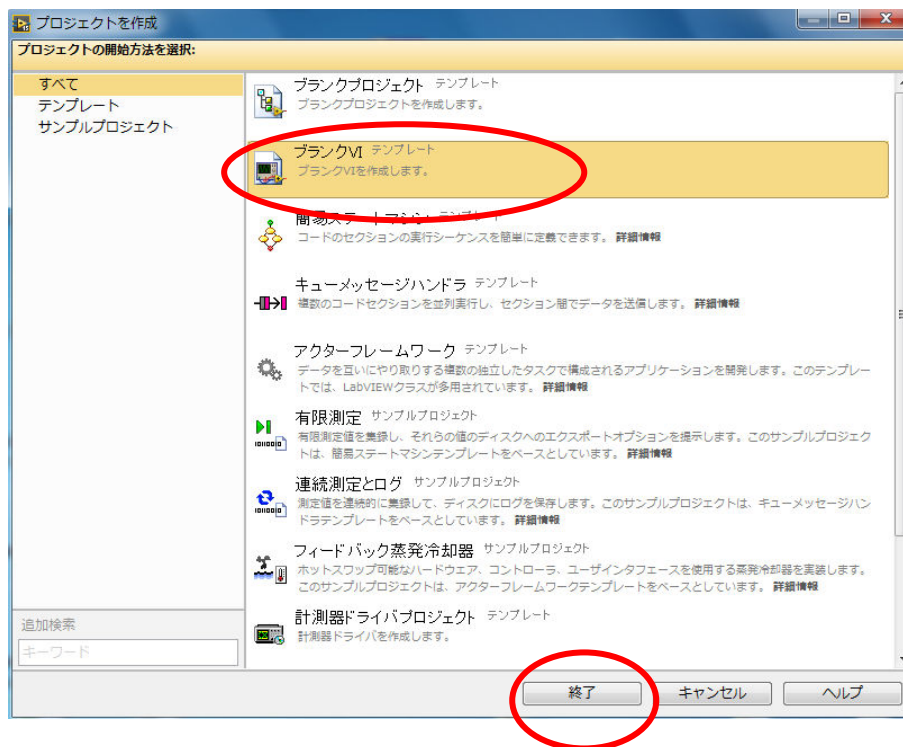
Windows8.1 LabVIEW2013SP1～

2. 操作例

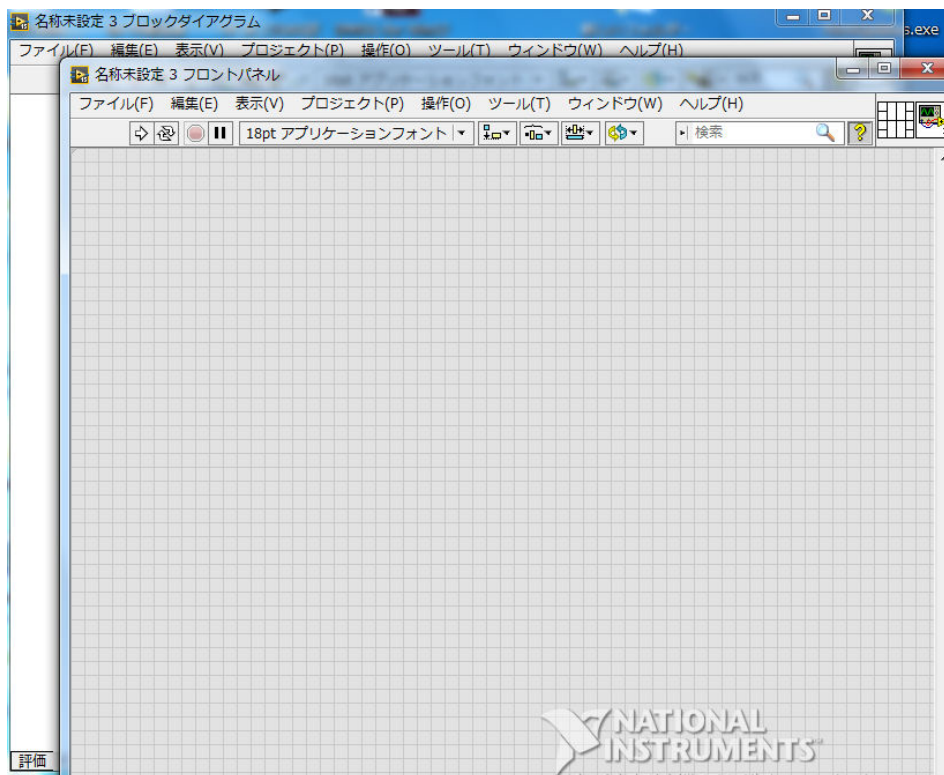
1) LabVIEW を起動します。



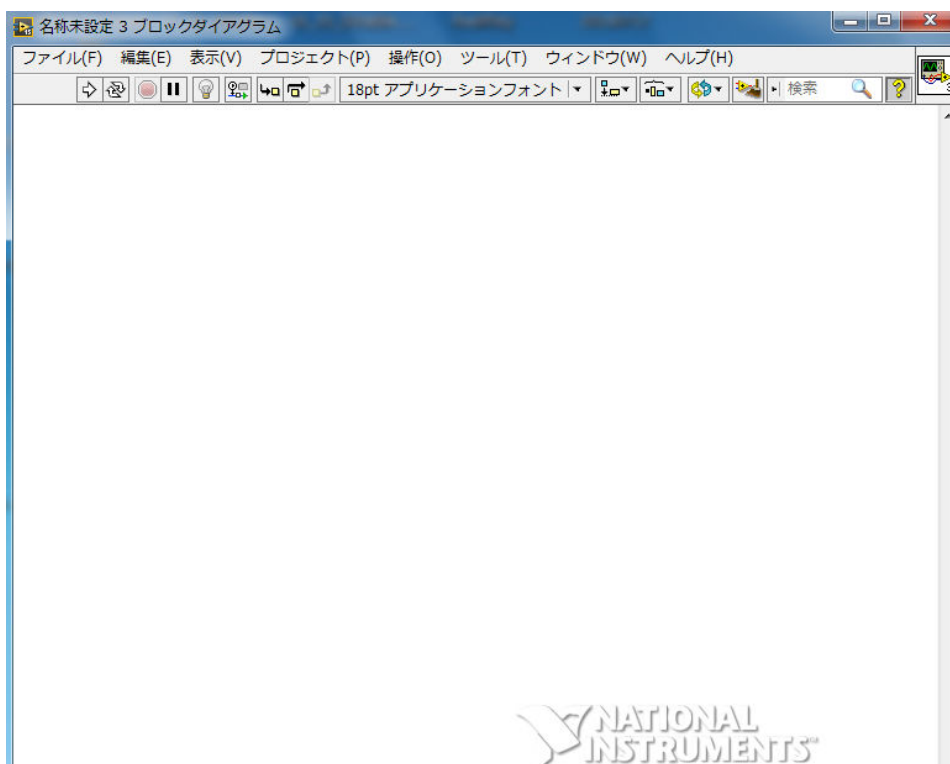
2) プロジェクトを作成



3) ブランク VI 作成

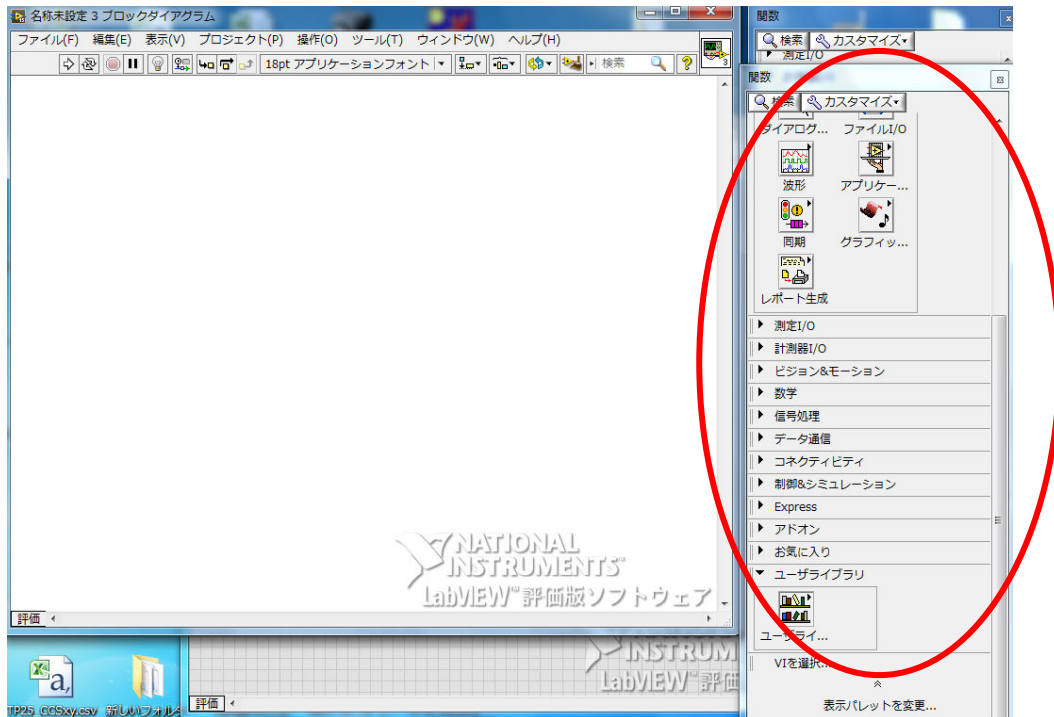


4) ブロックダイアグラム画面



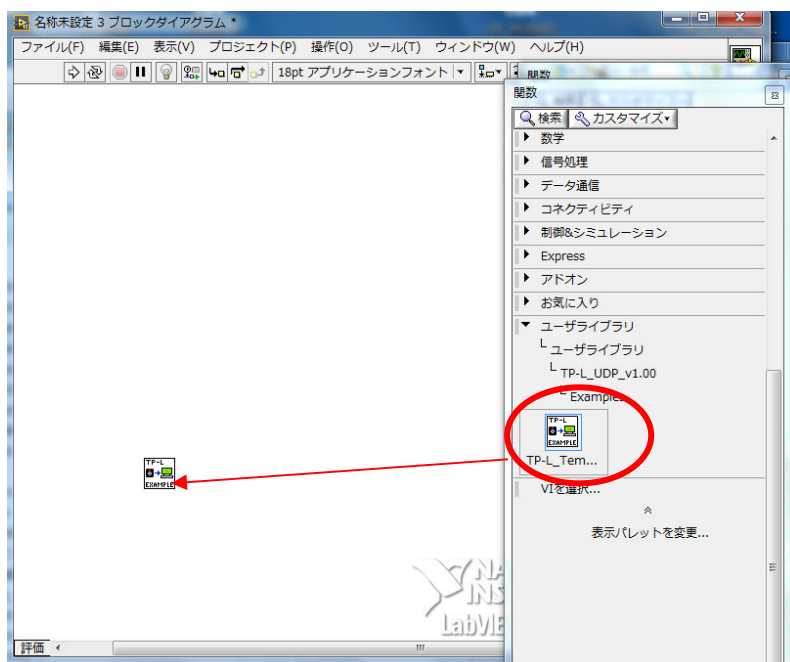
5) 関数パレットを表示

右クリック、またはメニュー「表示→関数パレット」で関数パレットを開きます。

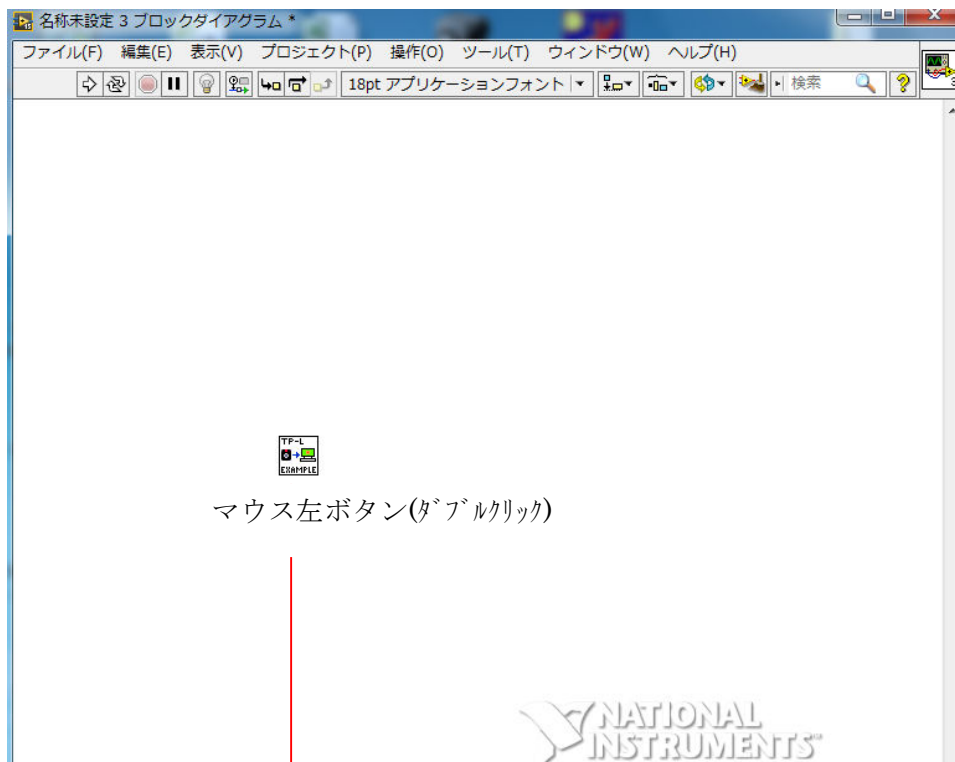


6) 熱画像描画更新例として

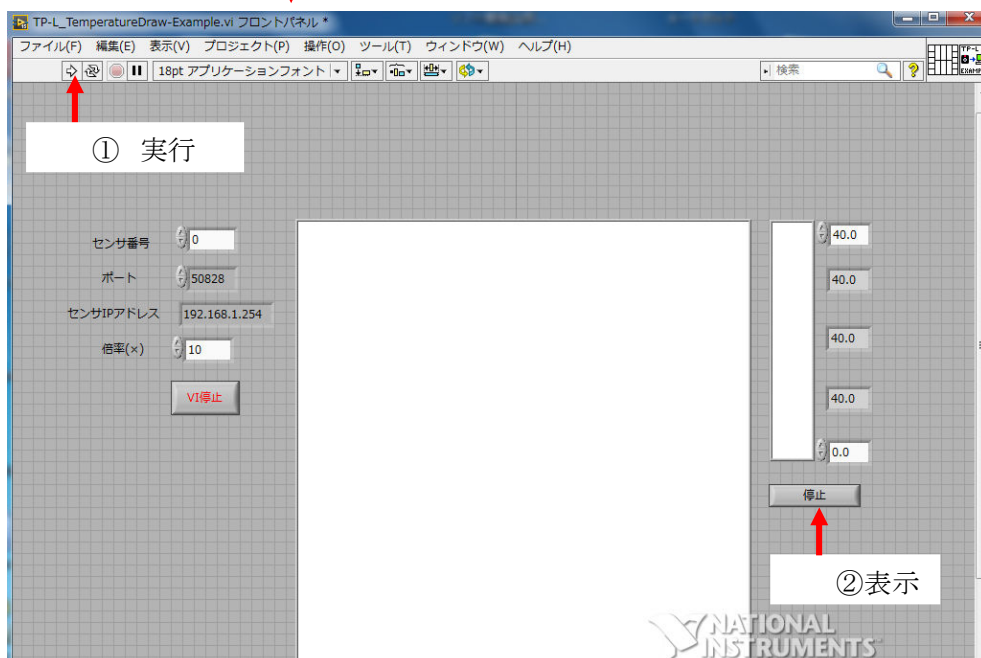
ユーザライブラリ→TP-L_UDP_V1.00→Examples→TP-L Temperature-Example.vi を選択し、ドラッグ&ドロップでブロックダイアグラム画面へ配置します。



7) ブロックダイアグラム画面



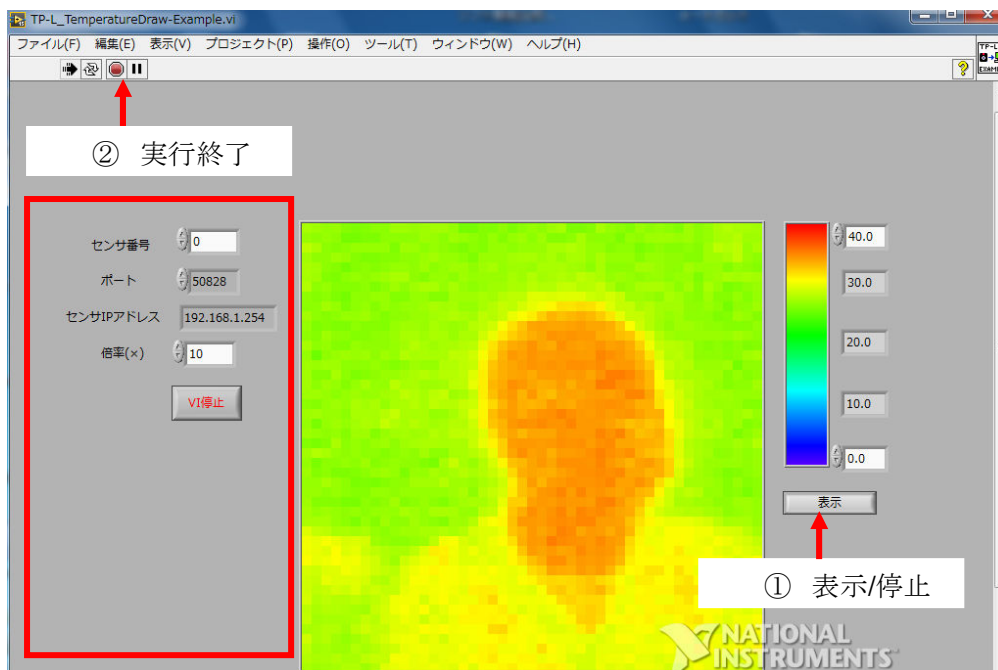
8) サンプル (TP-L_TemperatureDraw-Example.vi) のフロントパネル



9) 熱画像更新例

下記のように熱画像が更新されます。

終了する場合には①停止を押下し、②実行終了させてください。



TP-L_TemperatureDraw-Example.vi における LAN 設定情報は上図の赤枠の値となります。これは初期化後の初期値、または TP-L 工場出荷設定値と同じです。